

2021年～ モデル施設【2期生】として活動

1人では達成できなかったノーリフティングケアの普及が
仲間(フォロワー)の存在により広めることができた。

2022.～
マネジメント研修2年目スタート

スタンディングリフト
導入開始



2021.12月

腰痛調査および課題の分析
常時の腰痛者
ゼロ達成



2021.6月

腰痛対策推進委員会を発足
ノーリフティングケア
に取り組む



2019

何?おいしいの?

ノーリフティングケア
を知る



社会福祉法人みやこ老人ホーム
特別養護老人ホーム みやこの苑



前年度に残った課題

入浴、トイレ介助時などにリフト等の整備がなく全ての
場所で持ち上げない、抱えないケアはまだ出来ていない

ノーリフティングケアの目的と理解



また、今年もするの? 私(僕)は腰痛くないけいいやろ?



そもそも、なぜノーリフティングケアに取り組むの?

目的

利用者やご家族から最期にみやこの苑で良かったといわれる施設
みやこの苑で働いていますと胸を張って言える職場

みやこの苑 基本理念

『常に利用者への尊厳を大切にして、お互いに学ぶことを忘れない温かな対応』

忙しさに追われ、真に実践できているか?



ノーリフティングケア 2年目の変化

スタンディングリフトの導入

福岡県介護ロボット導入支援事業費補助金を活用し2台導入

Before After

抱え上げの
介助激減

トイレ介助が
つらい

介助が本当に楽になった

ケアプラン アセスメントの結果 10名の排泄介助に活用



定期的な腰痛調査



体操の重要性の認識に個人差が出ている

ポスターでの啓発



コミュニケーション



対話や腰痛に対する講義 体操の理解深める

ラウンドチェック



出勤時の腰痛体操



実施率UP



介助方法の変更



最近、立位悪く移乗が大変

ベッド下のコードが散らかり 介助がしにくい



設備備品・環境の整理整頓

気づきシートの改良



利用者個人 職員腰痛

その他 福祉用具

要因を分類することで 気づきを促すきっかけに

入浴サポートクッション導入



入浴時、円背の方は体が傾き支えるのが大変

ロングボードの滑りが悪くなった（シートの劣化）



福祉用具の管理・補修

指導者育成コース受講により技術の指導が昨年より向上

指導係の育成



教育スケジュール作成

STEP1	STEP2	STEP3	STEP4-1
ノーリフトケアの必要性と目的の理解	身体の使い方	リスクマネジメント	振り返り
/	/	/	/
/	/	/	/



コロナクラスター発生

指導係の指導内容共有



現場での技術チェック



職員がよりの確に自信をもって現場で実践できるようになってきた矢先に...


コロナによる職員数の不足や仕事量の増大

動画の活用や指導方法の見直し（受動的 ⇒ 能動的）で時間の効率化を図る

身体 の 使い方 動画にて学習



職員が事前学習しチェックする方法へ



特浴時ボードの使い方 動画にて学習



クラスター明け、実技研修の再開



変化 ピンチはチャンス

コロナ発症による委員会メンバーの不在



1人で問題を抱え込んでおりチームとして機能していなかった

お互いがそれぞれの役割をフォローし合うようになる

現場の声をより拾えるようになる

よく活用する移乗ボードの実技研修を予定より前倒して実施



まとめ

スタンディングリフト導入で抱え上げるケアが減った

PDCAサイクルを丁寧に実践することで課題を改善できた

チームとして取り組む事でケアを継続していけることを学んだ

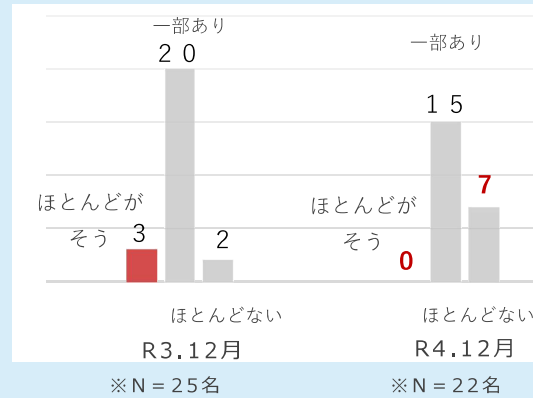
残された課題

- ① 一般浴 入浴介助へのリフト導入
- ② リフトを導入する上での業務内容の見直し
- ③ 福祉用具の管理および環境整備の徹底



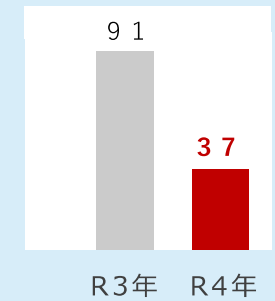
成果 1年間の職員アンケート集計結果と打撲外傷の推移

日常業務の中で
持ち上げ・抱え上げ介護を行なっている



ほとんどそう 12% ⇒ 0%

打撲外傷(ヒヤリハット含む)



発生率 40%まで減少



今後の目標

マニュアルを作成 『いつでも』『誰でも』同じケアを提供できる

指導係や委員会メンバー + 『既存職員全員が教えられる』環境を作る

他部署でのノーリフティングケア実践

地域へのノーリフティングケア普及啓発活動

教えてもらう施設



教えられる施設に

